

平成20年度 第3回安曇野市図書館協議会 会議概要

- 1 審議会名 安曇野市図書館協議会  
 2 日 時 平成20年9月17日(水) 午後1時30分から午後3時50分まで  
 3 会 場 明科総合支所 大会議室  
 4 出席者 熊井福会長、清沢委員、本郷委員、金子委員、小林委員、望月委員、加々美委員、  
 三重野委員、小原委員、武井委員、青木委員、  
 5 市側出席者 高原文化課長、高山図書館係長、宮澤社会教育係長、奈良沢主査、峯岸社会教育指導員  
 6 公開・非公開の別 公開  
 7 傍聴人 0人 記者 0人  
 8 会議概要作成年月日 平成20年9月18日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開 会 (高原課長)  
 (2) あいさつ  
 (3) 会長欠席のため副会長：熊井 喜久子委員進行  
 (5) 協議事項  
 ① 「生涯学習推進計画」について  
 ② その他  
 (6) 閉 会

2 審議の概要

(社会教育係長)

「生涯学習推進計画」の全体に関したこと、図書館協議会に関係したところの説明

(議長)

全体的なところには質問・ご意見等無いということで、P6 青少年期の施策の内容についてご意見等出してください。

(文化課長)

① 子どもの居場所づくりの充実ということですが、博物館・美術館も念頭においてほしい。

(委員)

P7 ④教育相談体制の充実のところ、安曇野市にはたくさんの不登校の子どももいると思うので、そういう子どもたちの集まる所の充実というのを入れてほしい。豊科に設置されていると聞いていますが…。

(社会教育係長)

学校教育の範ちゅうになるが、④教育相談体制の充実の中に入れるのがよいか、①子どもの居場所づくりの充実の中に入れるのがよいか、検討させていただく。

(文化課長)

学校教育課で取り扱っている中間教室、豊科には「けやきの家」がありますが、学校に代わって登校できない子どもの面倒をみる中間的な意味合いの教育施設という認識です。

(委員)

①子どもの居場所づくりのところ、建物の教育施設となっているが、野原とか運動場とか公園も提供できるのか。

(社会教育係長)

野外フィールドも記述に入れてほしいということなのか。などや等の表現に含まれていると考える。

(委員)

③子どもの「生きる力」を育む環境整備のところ、自然体験が大切だということと「読書」も大切。読書週間には学校に入らせていただいているが、今、穂高では一校だけ、全地域でやっていたらと思っている。その方面の先進地である茅野市の読書活動を参考にさせていただいて…

(議長)

P7 成人期に入ります。生涯において最も長い時期…

(委員)

主な担当課に秘書課がなぜ入るのか。

(社会教育係長)

秘書課は交流の事業を実施している。国際交流を含めて③地域交流の促進があるので入っている。他の附属機関の会議で主な担当課の記載が市民の方にわかりにくいというご意見がありましたので、計画の中に載せていくか検討していく。今後策定委員会を設置していく。8 附属機関でいただいたご意見を整理させていただいて、策定委員会に素案としてよいか判断を仰ぎ、パブリックコメントを行い、策定委員会に諮っていく。

(議長)

P12 (7) 情報化に対応した学習の推進のところは意見なしでよろしいということで、P15 (2) 図書館の整備促進専門分野ですがご意見をお願いします。

(図書係)

平成13年に「子どもの読書活動推進に関する法律」ができ「子ども読書活動推進計画」をつくりなさいという法律ができていますので、策定を進めながらということを入れておいた方がよいのではないかと。

(委員)

項目を追加するということか。これにすべて包含されていると思う。施策の中で活かしていけばよい。

(文化課長)

国で定めた法律によって、ここに謳われていなくても義務付けられていてやっていかなければならないことである。

(図書係)

読書活動の推進の一助になればということで・申し上げた。

(議長)

こういう要望、お考えがあるということで進めさせていただく。

(委員)

図書館はネットワークでつながって、学校図書館にもたくさんの本があるが、学校図書館と図書館とのネットワークはどうなっているのか。

(図書係)

学校教育の方が現在、穂高と堀金の各小中学校が電算化されて、それぞれ別のシステムになっている。オンラインでつながっているということではなくて、ただ、年度末位に老朽化してきているので、それをかえるという意味で一つのサーバーにして、その中にデータを入れる予定です。学校教育で電算化をどれ程進めていくかは、学校教育の方でどう考えるかによる。公共図書館としては既につながっているのにつなげるのは可能だが、問題なのはデータの的にクリーンでなければならないため、同じデータを共有するのは難しい。

(委員)

①資料整備と蔵書の充実のところ、蔵書の充実と音声・映像の整備とあるが整備と充実の言葉のちがいは・。

(社会教育係長)

整備についてはハード、充実についてはソフトであると統一を図っていない、これ以外のところでも統一を図りたい。

(議長)

P16、P17の(5)交流学习センターの充実。施策①～④までであるが・。この中で質問・意見・お考え等

(文化課長)

P17施策の②美術館補完機能の整備充実というところは、豊科交流学习センター2階部分のことを言っていると思うが、6月議会の首長答弁にもあったように美術館は耐震強度的に弱いと問題が生じ、美術館自体を充実させる工事を考えている。基幹美術館の整備・充実 この部分はP16(3)美術館等文化施設機能の充実の現状と課題及び施策の内容のところに移したほうがよい。交流学习施設としての整備とか、熊井啓の展示室を考えている。

(委員)

市の交流センター以外に私立の美術館も補助等考えられないか。美術館も800円から1000円し、全館回ると結構な出費になるので・。

(文化課長)

この計画の中に民間の文化施設の活用することも謳われていた。安曇野アートライン推進協議会・美術館連絡協議会を組織する中で、協働の事業の中で周遊する等何らかの形で割引制度を検討し、今後の話し合いにゆだねられていく。

(委員)

公民館と交流学习施設の違いは？明確に理解しかねる。

(文化課長)

公民館施設の役割は、社会教育法に定める公民館の事業をやっていくもの。穂高は地域学習・郷土学習の拠点。豊科の2階部分は交流学习施設という位置づけ、文化活動の拠点、文化サークルの活動の拠点。主にカルチャーを中心とした施設。明科は複合施設として運営複雑、児童館部分まで入った交流学习館。それぞれ性格が違う。公民館と活動面で一緒になることはないと思う。公民館と競合しないような施設にしていけないと・。これから検討していきたい。

(委員)

ひまわりではっきりしていることは、公民館ではお金をとってやる講座は扱わない。ひまわりでは、講師が教室を開きたい。NHK講座の地方版。ここにある現状と課題だけでは、P17 5行目 地域に根ざした事業を企画、運営し・とあるが、この文だけでは公民館との違いが汲み取れない。もう少し現実的なところで、使い分けをはっきり入れていただかないと分からない。

(文化課長)

今の段階では出せない。公民館関係者との話し合いが必要。目標としては、文化活動を主軸においたセンターとしていきたい。豊科は文化ゾーン、尚且つ熊井啓も顕彰していきたい。今すぐすみ分けはむずかしい。

(委員)

生涯学習は公民館の謳い文句であった。明科ではすみ分けで悩み、交流学习センターはカルチャーセンター的にお金を出しても勉強したいというもの。

(委員)

公民館とのすみ分けをはっきりさせてから、交流学习センターを考えてほしかった。公民館は専門の職員さんがいて講座を企画・運営、交流学习センターは自発的なもの。地域に根ざした事業を企画運営し、という主体はどこか？

(文化課長)

これとは別に来年度、文化振興基本計画を練る予定でいるが、公民館とはどうちがうか、そこでしっかり練りたい。

(委員)

④児童館機能の整備充実の子育て支援にも配慮とっているが、これほどが中心になってやっているのか。

(文化課長)

児童館機能の整備・充実、これは三郷の交流学習センターのことをいっている。児童館は別棟で先行して造った。設計は社会教育課で、建設そのものは健康福祉部の仕事。児童館長は三郷の市民福祉課の課長が兼ねている。

(委員)

ひまわりも子育て支援がやっている。子育て支援は場所だけ借りて、企画は健康福祉課でやっているということか。

(文化課長)

ひまわりは建物は一つですが、学習館部分は社会教育課、児童館部分は市民福祉課、図書館部分は文化課。三つの課にまたがっている関係で、毎月1回ひまわり館会、打ち合わせ会をもっている。

(議長)

P18(2) 学習相談体制の整備・充実のところ質問・ご意見・要望等 →なし

P20(3) 市民交流の増進についてご質問・ご意見・要望等

(委員)

29地区分館があり、30戸足らずの所、大きい所は1,100戸をこえる所もあり、統廃合して整備していくべきではないか、行政の方でも考えてほしい。豊科では気軽に利用できる所もあるようだが、地域のコミュニケーションを図れるような地域開放型の公民館にしていくべきではないか。

(社会教育係長)

公民館運営審議会でも公民館に対する理念同じような意見が出されていた。実際のところセキュリティーがあつて難しい面もあるが、今後公民館のあり方を熟成させ地域のまちづくりのため、何らかの形で考えたい。統廃合については、今後計画の中に何らかの形で入れたい。

(議長)

推進体制イメージについて質問・意見は…。いろんなところが動かなくてはならない重いイメージがしますが…

(委員)

こういう計画案は保育園のお母さんたちやスポーツ少年団の関係の方など、具体的に関わる人たちにも読んでもらい意見をいただける機会があるのか。

(社会教育係長)

青少年健全育成審議会とかスポーツ振興審議会の代表の方にご意見いただき、策定委員会に諮らしていただき素案とし、広報等で周知し、パブリックコメントを行い、策定委員会に図り実施していく。

(委員)

地区公民館の役割は？合併により講座が少なくなってしまった。いろんな講座を地区で開くようにしてほしい。

(社会教育係長)

地区公民館の役員さんは2年毎に変わる方が多い。役員さんの考えにもよる。合併によりなくなるということはない。

(委員)

堀金の健康福祉課で行っていた講座、各分館をまわっていた。役員が変わったからというものではないと思う。

(社会教育係長)

健康づくりを推進するために国の方から補助金がきたので健康福祉部で行っていた事業ではないかと思う。公民館が行ったものではなく、会場が公民館だったということではないか。元となる財源を明確にしないとわからない。

(委員)

私の所の集会所雨漏りがするし住宅が増え全戸集まったら入れない。建て直すにはお金がいるし、困っている。近くの集会所の建物の充実を図っていただきたい。

(社会教育係長)

公民館の施設整備は社会教育課。集会所はまちづくり推進課で整備補助金が出る。必要なら相談。

(委員)

P13(8) 地域の安全・安心を進める学習の推進のところで、以前災害の時に、外国から来られた方全然情報がなくて困った人がいた。そのような時の体制作りをする必要がある。

(委員)

今、市では危機管理室が中心になって防災マップを作ろうということで始めたところ。区長が先に立ってやっていく。

(委員)

P8④人材登録の活用を進めてほしい。生涯学習生きがい作りという面で二つあると思う。一つは自分の健康・趣味を行うことと二つ目にはと社会の役に立つことだと思ふ。ここのところを強調してほしい。

(社会教育係長)

体系図の基本構想2 学びの成果が活かされるまちづくりを掲げ、P23 リーダーバンク制度の充実という項があり、いろいろな分野で学習してきたもの還元し、各期に体験してきた技・趣・技術も還元していくということで載せてある。

(議長)

これで審議を終了します。図書館協議会でもう1度審議したほうがよいか。→ これで終了

策定委員2名を選出願いたい。→ 熊井 副会長、甕 会長に決まる。